

和歌山大学岸和田サテライト事業報告 2014



はじめに

和歌山大学は、大阪府岸和田市との地域連携推進協定にもとづき、2006年4月、岸和田市立浪切ホールに岸和田サテライトを開設しました。サテライトでは、和歌山大学の学部開放授業（教養科目）、大学院経済学研究科授業および専門研究（租税法）を開講し、地域のみなさんに高等教育の機会を提供しているほか、地域課題の解決に向けた各種の研究・連携事業や住民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習事業等を実施しています。

2014年度は、岸和田市との連携の指針となる「和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン2014-2023、同アクションプラン2014-2016」に沿って、より戦略的・計画的な事業運営に取り組みました。このビジョンおよびプランは、岸和田市との連携の目的である4つの「目指す姿」を軸に、それらを実現するための各種事業および組織運営の充実を図るために策定したものです。

岸和田サテライトの各種事業は、自主事業としての活動と、本学の各部局が岸和田市を中心とした大阪府南部（泉州地域）で事業を実施する際の調整・協力等の諸活動からなっています。

本事業報告においては、前者の事業活動に重点をおきつつ、地域における本学の教育研究および連携活動等の概要を、上記の4つの「目指す姿」に沿って報告しています。

今後ともサテライト事業にご支援・ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

2015年5月

和歌山大学岸和田サテライト長 藤田 和史（経済学部准教授）

東洋経済学部の国際関係学

アメリカと中国、 2つの地域秩序構想

～東アジアの国際関係を考える～

講師：松本 雅夫 (和歌山大学経済学部教授)

本講義は、これまで国際関係を論じてきた地域秩序の考え方を、東アジアの国際関係の動向を踏まえ、東アジアの国際関係を再考する。東アジアの国際関係を再考する。東アジアの国際関係を再考する。

参加費無料
申込不要

日程：平成26年11月19日 19:00～20:30

会場：和歌山県立済美ホール 1階 多目的ホール

和歌山大学津和野サテライト
津和野市津和野1-1 済美ホール2F
Tel&Fax: 072-433-0875
E-mail: info@waku.ac.jp

和歌山大学・津和野校地産学連携推進課

第67回 わだいな浪切サロン

東洋経済学部の国際関係学

東アジアの中の 韓国文化

講師：松本 雅夫 (和歌山大学教授)

韓国は中国と日本が中心となっており、東洋経済学部の国際関係学は、東アジアの国際関係を再考する。東アジアの国際関係を再考する。

参加費無料
申込不要

日程：平成26年12月17日 19:00～20:30

会場：和歌山県立済美ホール 1階 多目的ホール

和歌山大学津和野サテライト
津和野市津和野1-1 済美ホール2F
Tel&Fax: 072-433-0875
E-mail: info@waku.ac.jp

和歌山大学・津和野校地産学連携推進課

第68回 わだいな浪切サロン

東洋経済学部の国際関係学

伝統の太地

～日本の重要な捕鯨史～

TRADITION TAJI

～Japan's Significant Whaling History～

講師：Simon Wearne (和歌山大学経済学部教授)

本講義は、和歌山県太地町の捕鯨史をテーマとし、日本の重要な捕鯨史を再考する。和歌山県太地町の捕鯨史をテーマとし、日本の重要な捕鯨史を再考する。

参加費無料
申込不要

日程：平成27年1月21日 19:00～21:00

会場：和歌山県立済美ホール 1階 多目的ホール

和歌山大学津和野サテライト
津和野市津和野1-1 済美ホール2F
Tel&Fax: 072-433-0875
E-mail: info@waku.ac.jp

和歌山大学・津和野校地産学連携推進課

第69回 わだいな浪切サロン

東洋経済学部の国際関係学

和歌山大学の 持続可能性を探る

～和歌山大学生活の過去と未来を語る～

講師：山本 健彦 (和歌山大学)

和歌山大学の持続可能性を探る。和歌山大学の持続可能性を探る。

参加費無料
申込不要

日程：平成27年3月18日 19:00～20:30

会場：和歌山県立済美ホール 1階 多目的ホール

和歌山大学津和野サテライト
津和野市津和野1-1 済美ホール2F
Tel&Fax: 072-433-0875
E-mail: info@waku.ac.jp

和歌山大学・津和野校地産学連携推進課

第70回 わだいな浪切サロン

平成26年度
岸和田サテライト友の会夏季講演会

友の会会員 若士論文発表 14:20～14:55
『所得税法56条に関する一考察』
～高齢者に対する租税負担の軽減について～
松下 優子氏 (和歌山大学地域経済学専攻准教授)

講演 15:00～16:15

岸和田とレンズ産業

講師 藤田 和史
(和歌山大学経済学部准教授)

7/19(土)

参加 無料

夜間授業券 申込フォーム
(4/15(金)受付)

講演に参加される方は7月16日(金)までに下記までお申し込みください。

平成26年度用紙掲載要項の掲載 16:15～16:30

和歌山大学岸和田サテライト 〒645-8501 和歌山県和歌山市 岸和田 1-1-1 2F
TEL 072-433-8876 和歌山大学サテライト 検索

岸和田サテライト友の会夏季講演会

平成26年度
岸和田サテライト
友の会冬季講演会

14:00～14:40
DVD上映
『生命「いのち」のことば』
～和歌山県立中央病院の取り組み～

2/14(土)
岸和田市立生活センター
代表 栗谷 太氏

14:50～15:20
基調講演
「災害時の避難で留意しておくこと
～避難困難者への対応～」
講師 一松 和歌山大学地域経済・生活学習センター講師

15:30～16:30
発表&討論
NPO法人自立生活センター・いこら代表 栗谷 太氏
岸和田市社会福祉協議会 三村 達雄氏

平成27年度新築開校記念講演会 16:30～16:45
和歌山大学岸和田サテライトで開校する20周年、新築の機会に於いて行われます。

和歌山大学岸和田サテライト 〒645-8501 和歌山県和歌山市 岸和田 1-1-1 2F
TEL 072-433-8876 和歌山大学サテライト 検索

岸和田サテライト友の会冬季講演会

和歌山大学岸和田サテライト事業報告 2014

目 次

はじめに

2014 年度事業告知チラシ

目次

「目指す姿」（和歌山大学・岸和田サテライト地域連携アクションプラン 2014-2016）別の事業体系表

■09	1 高等教育事業	
	(I 高等教育機能を発揮している)	
■13	2 生涯学習機会の提供	
	(II 市民の生涯学習活動をサポートしている)	
■16	3 地域研究事業	
	(III 地域課題の発見と解決・大学の知的資源と住民の交流をサポートしている)	
■19	4 各種連携	
	(III 地域課題の発見と解決・大学の知的資源と住民の交流をサポートしている)	
■25	5 連携組織	
	(IV 持続可能な連携組織となっている)	
■31	資料編	
	A 授業実施状況	
	B わだい浪切サロン実施状況	
	C 第3回「地域と大学を繋ぐコーディネーターのための研究実践セミナー」資料	
	D 岸和田市附属機関委員等の就任状況	
	E 活動記録	
	F 和歌山大学組織図（2014 年度）	
	G 委員・スタッフ名簿	

◆「目指す姿」（和歌山大学・岸和田市地域連携アクションプラン 2014-2016）別の事業体系表◆

目指す姿		事業分類					
I	高等教育機能を 発揮している	1	高等教育事業	1-1	大学授業の開講	1-1-1	高度職業人養成型授業の開講
						1-1-2	地域課題探求型授業の開講
				1-1-3		文化・教養型授業の開講	
				1-2	学習環境の充実	1-1-4	学習環境の充実
II	市民の生涯学習活 動をサポートして いる	2	生涯学習機会の 提供	2-1	わだいな浪切サロ ンの充実	2-1-1	継続実施と新たな展開
						2-1-2	戦略的な周知活動
				2-2	セミナー等の 開催	2-2-1	セミナー等の開催
III	地域課題の発見と 解決・大学の知的 資源と住民の交流 をサポートしてい る	3	地域研究事業	3-1	地域研究事業	3-1-1	地域課題の解決に向き合う事業の 実施
						4	各種連携
		4-1-2	生涯学習分野・まちづくり分野の 連携促進				
		4-2	岸和田サテライ ト友の会への 支援	4-2-1	友の会の活動促進、地域との連携		
		IV	持続可能な連携組 織となっている	5	組織体制・財政	5-1	戦略的な組織 体制
5-1-2	大学の連携体制の強化						
5-1-3	市の連携体制の強化						
5-2	事務局機能の 充実					5-2-1	事務局機能の充実
						5-3	財政運営
5-4	効果的な広報 活動					5-4-1	多様なチャンネルによる戦略的 広報の実施
				6	事業立地	6-1	事業立地

1 高等教育事業

和歌山大学岸和田サテライトでは、本学が有する高等教育機能を活用して、社会人の学び直し・地域課題の探求やスキルアップなど、大人の学習ニーズに即した学部開放授業（教養科目）と大学院授業（経済学研究科）を開講しています。

2014年度は、学部開放授業4科目と大学院授業8科目を開講し、受講者はのべ175名でした（授業は土曜日と平日夜間に浪切ホールで開講）。

(1) 学部開放授業（教養科目）

（「教養の森」センター）

18歳以上の方を対象に、本学「教養の森」センターのサテライト科目を学部開放授業として開講しています。＜地域課題探求型科目＞、＜文化・教養型科目＞の2系統の授業を開講し、本学学生の履修もあります。

学期	科目名	学部	担当教員	受講者数
前期	高齢化社会の住まいと地域環境 ＜地域課題探求型科目＞	観光 システム工学 教育	堀田 祐三子 教授 足立 啓 教授 村田 順子 教授	24 (3)
	みんなの科学入門 -身の回りの材料と科学技術- ＜文化・教養型科目＞	システム工学	田中 一郎 教授 大須賀 秀次 准教授 宇野 和行 准教授	10 (1)

(内：学部学生数)

「高齢化社会の住まいと地域環境」では、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、インクルーシブデザインなどの住まいや施設の工夫、地域全体で支える高齢者の生活、高齢化に伴う空き家増加への対策など、異なる切り口からのリレー講義がおこなわれました。

「みんなの科学入門」では、講義に加えて実験・実習が取り入れられ、科学ファンの方々が熱心に受講しました。



「高齢化社会の住まいと地域環境」



「みんなの科学入門」

学期	科目名	学部	担当教員	受講者数
後期	食と農の経済学 ＜地域課題探求型科目＞	経済	大西敏夫 教授	23 (11)
	西ヨーロッパの文学と社会 ＜文化・教養型科目＞	教育	小栗栖 等 教授 千田まや 教授	16 (5)

(内：学部学生数)

「食と農の経済学」では、食料需給をめぐる世界と日本の事情、食生活・食料消費構造と食関連産業、フードシステム（食の生産・流通・消費）と食農ビジネス、食育・地産地消と地域農業などを取り上げました。

「西ヨーロッパの文学と社会」では、中世フランス文学とトーマス・マンを中心とした20世紀ドイツ文学を取り上げ、作品の解説とともに、両者の連続性の一端を歴史的な視点から振り返りました。



「食と農の経済学」



「西ヨーロッパの文学と社会」

(2) 大学院経済学研究科授業

(経済学部)

大学院授業では、＜高度職業人養成型科目＞、＜地域課題探求型科目＞を開講し、幅広い年代の社会人科目等履修生および大学院生がともに学んでいます。高度職業人養成型科目は、将来の修士課程進学を視野に入れた科目等履修生が多く、地域課題探求型科目は、大阪府内（大阪市、堺市を除く）地方自治体職員の研究研修事業（マッセ OSAKA 「地方分権ゼミナール」）としても活用されています。

学期	科目名	担当教員	受講者数
前期	租税法英米判例特殊問題	片山直子 教授 袴田裕二 教授	6 (1)
	会社法特殊問題	清弘正子 准教授	11 (8)
	法人税法特殊問題	田中俊男 非常勤講師	11 (8)
	公共経営論 -パブリック・セクターのイノベーションと戦略-	江口雅祥 非常勤講師	15 (11)

学期	科目名	担当教員	受講者数
後期	租税争訟法特殊問題	片山直子 教授	10 (7)
	租税法実務特殊問題	近畿税理士会	16 (12)
	地方都市の地域マネジメント※	大泉英次 名誉教授 橋本卓爾 名誉教授 足立基浩 教授 藤田和史 准教授	18 (8)
	財務会計論特殊問題	山田恵一 准教授	15 (12)

(※は地域課題探求型科目、その他は高度職業人養成型科目 内：大学院生数（岸和田・栄谷）)



「会社法特殊問題」



「公共経営論」



「地方都市の地域マネジメント」



「租税法実務特殊問題」

(3) 大学院経済学研究科修士課程租税法研究

(大学院ゼミおよび修士論文指導)

2014年度、税理士を目指す8名の院生が岸和田サテライトで租税法の研究指導を受けました。

(M1:5名、M2:3名)

学期	科目名	担当教員	受講者数
通年	専門研究 I・II および修士論文	片山直子 教授	8

(4) 学習環境の充実

■サテライト蔵書

大学院・学部授業のテキスト・参考文献をはじめ、租税法院生の研究に必要な専門書や大学と地域の連携に関する図書を中心に購入し、蔵書の充実に努めています。

2014年度は、購入図書49冊、その他各学部の定期行物の受入れ、本学教員の抜き刷り論文、他大学の報告書などの受け入れが多数ありました。



■サテライト自習室

大学院生、科目等履修生を中心に、2014年4月～2015年3月に205件の利用があり、論文執筆や資料検索等のために自習室が有効に活用されました。



2 生涯学習機会の提供

(1) わだい浪切サロン

毎月第3水曜日の夜(2月と8月を除く)、年間10回の“mini 和歌山大学”を開催しています。開始から5年を経て、「わだい浪切サロン」は地域への本学の教育・研究活動のPRの場としての役割を十分に果たすとともに、住民の多様な関心に応える学習・交流の機会として定着しています。

回	月日	内 容	話題提供者(所属)	参加数
61	4.16	百人一首カルタで学ぶ王朝和歌	菊川恵三 教授 (教育学部)	47
62	5.21	3Rとエコライフ ー循環型社会を考えるー	金子泰純 准教授 (システム工学部)	40
63	6.18	近江商人の経営システム	上村雅洋 教授 (経済学部)	46
64	7.16	現代日本の若者を考える ーひきこもり支援から見える風景ー	山本 朗 准教授 (保健センター)	64
65	9.17	超小型衛星 UNIFORM-1 号機の運用	小谷朋美 特任助教 (宇宙教育研究所)	46
66	10.15	消費税をめぐる諸問題について	片山直子 教授 (経済学部)	54
67	11.19	アメリカと中国、2つの地域秩序構想 ー東アジアの国際関係を考えるー	藤木剛康 准教授 (経済学部)	48
68	12.17	東アジアの中の韓国文化	柏原 卓 氏 (本学名誉教授)	44
69	1.21	伝統の太地 ～日本の重要な捕鯨史～ TRADITION TAIJI –Japan’s Significant Whaling History–	Simon Wearne 特任助教 (観光学部)	62
70	3.18	和歌山大学の持続可能性を考える ー和歌山大学生生活の過去と未来を語るー	山本健慈 学長	66

年間参加者合計 517名

「わだいな浪切サロン」参加者アンケート（感想）から

◆ 百人一首カルタで学ぶ王朝和歌

古語は難しく、とっつきにくいイメージがありましたが、小学生のうちからカルタをやっていたら日本語にもっと興味が持てるようになると思うので、すごくよいと思いました。今日教えてもらったセレクト 20 を覚えようと思いました（20代・女性）



◆ 3Rとエコライフ —循環型社会を考える—

便利さの中でつつい忘れがちなもの「もったいない」の心を常にもって、出来ることからエコライフを実践していきたいと思います。「もったいない」は「ケチ」とは違う、大事な心も再認識させていただきました。（40代・男性）



◆ 近江商人の経営システム

近江商人の言葉のイメージがあっても、実際にどんな形態の経営方針であったかまでは、今まで知りませんでした。主人と支配人の関係、本拠と出店のシステムについてとても興味がわきました。（40代・男性）



◆ 現代日本の若者を考える

—ひきこもり支援から見える風景—

ひきこもりの状態でなくても子供達が成長過程で苦しんだりもがいている（「みずどり」の表現）時期を、親の立場でどのように接していけば良いか、少しわかったような気がします。（40代・女性）



◆ 超小型衛星 UNIFORM-1 号機の運用

人工衛星の打ち上げや運用について、大規模な施設が必要でなく、大学レベルでも研究できるものだと初めて知りました。地球上の出来事を上空からもっと気軽に見られるようになれば、人々の生活にもっと役立つように感じます。（40代・男性）



◆ 消費税をめぐる諸問題について

直接税、間接税の違いなど、基本的なことから説明していただいでわかりやすかった。消費者の立場からすれば消費税増税は反対ですが、財政難を考えるとやむを得ないと思います。ただ、増税により本当に社会保障が充実するのか、多くの人が不安に思っていて反対するのではないかと思います。(40代・女性)



◆ アメリカと中国、2つの地域秩序構想

－東アジアの国際関係を考える－

実際に大学の授業を体験できたみたいでとても良かった。東アジアの多国間協力枠組の図がとてもわかりやすく、今までどこに何が入っているか曖昧だったが、今回とてもよくわかった。ニュースなどで問題になっている中国の領土問題の背景がわかり、中国がどう考えてそういう行動を起こしているのかが理解できた。(10代・女性)



◆ 東アジアの中の韓国文化

まったく素人の私からすれば、かなり詳しく難しかったです。中国、韓国、日本が自然にしていれば仲良くできる時代じゃないのが悲しくて、知っているようで何も知らないこの国のことを知らないといけな

いと思いました。(60代・女性)



◆ 伝統の太地 ～日本の重要な捕鯨史

TRADITION TAIJI

－Japan's Significant Whaling History－

多くの日本が捕鯨について肯定的な考えを持っているように感じていたが、その内容や歴史について実はほとんど理解していなかったことを実感した。(30代・男性)



◆ 和歌山大学の持続可能性を考える

－和歌山大学生活の過去と未来を語る－

地方国立大学および和歌山大学の現状を、山本学長がどれほど先を見据えて声をあげられたかが、よくわかりました。世論も巻き込み、もっと大きな声になり、国が目覚ましてくれることを祈ります。

(50代・女性)



3 地域研究事業

高等教育事業（学部開放授業、大学院授業）や生涯学習事業「わだいな浪切サロン」等では必ずしも対応が十分にはできない地域課題の解決支援と住民参加型事業の構築を目的とする地域課題研究型プログラムを2012年度から実施しているほか、学内公募型プロジェクトによる地域研究事業等をおこなっています。

（1）地域課題研究型プログラム

「少子化社会における学校のあり方をめぐる研究 ー岸和田市を中心にー」

少子化が叫ばれる昨今、児童・生徒数の減少により、複式学級、学校統廃合等、学校のあり方をめぐる議論が予想されます。地域によっては、すでにこのような課題に直面しているところもあり、様々な取り組みが行われています。岸和田市も今後このような課題に直面することが予測され、早い段階での準備を進める必要があると考えられることから、和歌山大学岸和田サテライト、岸和田市教育委員会学校教育課、同市政策企画課の三者で研究会を組織し、研究に取り組みます。

■キックオフミーティング

○開催

2015年2月4日（於：岸和田市役所）

○出席者

和歌山大学：	藤田和史	（サテライト長/経済学部准教授）
	西田喜一	（地域連携コーディネーター）
	神谷千春	（地域連携コーディネーター）
岸和田市：	寺田博 課長	川田智子 指導主事 （学校教育課）
	橋本純	中島剛 酒井久仁子 （政策企画課）

○内容

本プログラムの趣旨と情報の共有を行い、2015年度には、市立学校の全体調査（①統計データ整理 ②学校への個別ヒアリング等）をおこなうこととしました。テーマの性質上、単年度の取組みではなく、2015年度以降も継続して同テーマで取り組む予定としています。

(2) 岸和田市山手のまちづくり研究

(学内独創的研究支援プロジェクト採択事業:「エリアマネジメント組織との連携による実践型まちづくりに関する研究」)

岸和田市の山手地区を対象に、今後の都市計画のあり方を検討する研究会を岸和田市と和歌山大学で立ち上げ、2年間のプロジェクト期間を通じて活動を進めています。近隣の丘陵地区整備との関係、都市近郊農業としての土地利用の現状と課題、人口減少地区を中心とした住民の意識調査等、複合的な視点から研究調査活動をおこなっています。

■研究会

○出席者

和歌山大学：	堀田祐三子	(観光学部教授)
	金子泰純	(システム工学部教授/副サテライト長)
	藤田和史	(経済学部准教授/サテライト長)
	神谷千春	(地域連携コーディネーター)
	西田喜一	(地域連携コーディネーター)
岸和田市：	秦 威夫 小竹雄介	(都市計画課)
	橋本 純 中島 剛	(政策企画課)

○開催

8月6日 キックオフミーティング (於：岸和田市役所)
9月24日 第1回研究会 (於：岸和田市役所)
10月29日 第2回研究会 (於：岸和田市役所)
12月24日 第3回研究会 (於：和歌山大学)
2015年2月6日 第4回研究会 (於：和歌山大学)



(3) 地域発展学習プログラムの開発と実施に関するセミナー (地域連携・生涯学習センター)

和歌山大学地域連携・生涯学習センターは、地域発展のための主体的力量形成に貢献する学習内容と実施のあり方を探求する「地域学習発展プログラムの開発と実施に関するセミナー」(岸和田会場)を毎年開催しています。

2014年度は、「人が育つ地域・地域をつくる学び」をテーマとして、基調講演とパネルディスカッションを実施しました。(共催：岸和田市・岸和田市教育委員会、後援：岸和田サテライト友の会)

■第13回セミナー「人が育つ地域・地域をつくる学び」

○開催 2015年1月31日(土)13時～16時半(於：岸和田市立浪切ホール特別会議室)

○参加者 119名

○内容

開会あいさつ 池際博行 (和歌山大学理事・教育学生支援機構長)

基調講演 「ヒトが育つ地域・地域を創る学びー私の研究と実践ー」

山本健慈 (和歌山大学長)

パネルディスカッション 「人が育つ地域・地域をつくる学びと大学の役割」

西端崇典氏 (桃山学院大学1回生、まなびの郷KOKO塾OB)

長谷川秀美氏 (NPO法人ここからKit代表)

米本善則氏 (文部科学省生涯学習政策局社会教育課課長補佐)

足立基浩 (和歌山大学経済学部教授)

コーディネーター 村田和子 (和歌山大学地域連携・生涯学習センター長/教授)

閉会あいさつ 樋口利彦氏 (岸和田市教育長)



基調講演(山本健慈学長)



パネルディスカッション



4 各種連携（学校教育分野・生涯学習分野・まちづくり分野・岸和田サテライト友の会）

（1）学校教育分野

■岸和田市立産業高等学校からの授業見学・懇談（経済学部）

7月11日、岸和田市立産業高等学校の教諭と生徒が和歌山大学経済学部（栄谷キャンパス）を訪問しました。経済学部教員による学部紹介、大講義室での授業やゼミ体験に続いて、附属図書館と協働教育センター（クリエ）を見学。その後、岸和田市立産業高校出身の在學生との懇談をおこないました。



■特別支援教育コーディネーターフォーラム（教育学部特別支援教育学教室）

岸和田会場（浪切ホール研修室）を含む本学および和歌山県内の計5つの会場をテレビ会議システムで結び、講演・事例発表・意見交換をおこないました。

岸和田サテライトは、岸和田および周辺地域の小・中・高等学校・支援学校等への広報と会場支援を担当しました。

月日	内 容	参加数
6.25	保幼小連携から見える障害のある子どもたちの移行支援について －和歌山県・大阪府4地域における取組を通して－	14名
8.29	ICTが開く教育の新たな可能性 －障がいのある児童生徒に対する合理的配慮としての支援技術－	6名
9.24	発達障害の二次障害への対応 －認知行動療法を参考にした「どんまいプログラム」の開発とその効用－	15名
10.23	当事者が語る専攻科や専攻科型『自立訓練事業』の意味と意義 －発達のあゆみがゆっくりな青年たちの自分づくり・仲間づくり－	23名
11.26	精神科ってどんなところ － 精神科通院・入院の基礎的知識－	8名

参加者合計 66名

■大阪中学生サマーセミナー（協働教育センター）

8月1日、浪切ホールにて、大学コンソーシアム大阪および南大阪地域大学コンソーシアム加盟大学主催の「大阪中学生サマーセミナー」を開催し、本学協働教育センター（クリエ）が中学生を対象に科学教室「電子工作」を担当しました。



(2) 生涯学習分野・まちづくり分野

■「医療と養生 一病の波を乗り切るコツ」（教育学部）

10月7日、浪切ホールにて、近世養生論研究グループ主催の市民ワークショップが開催されました。（代表：片淵美穂子 教育学部准教授）



■「産業立地と都市構造を考える 一地理学徒からみる岸和田一」（岸和田サテライト）

6月25日、まちづくりネットワーク岸和田において、藤田和史 経済学部准教授（岸和田サテライト長）が地元の地域産業について、産業地理学の視点から講演しました。（於：岸和田市立公民館）



■岸和田市産業振興部との連携打ち合わせ（産学連携・研究支援センター・研究協力課）

5月20日、岸和田市産業振興部（産業政策課、農林水産課、観光課）の皆様が本学を訪問し、商業・農業の活性化や観光推進などの分野における本学との連携について情報・意見交換をおこないました。



■「地域調査研究」フィールドワーク（経済学部）

経済学部授業「地域調査研究」が8月19日から22日までの4日間、泉州地域をフィールドにして開講されました。

今年度は、泉州のレンズ産業の歴史と現状について、藤田和史 准教授、西田喜一 地域連携コーディネーターの調整により、会社・工場見学を実施しました。

学部生に加えて、岸和田サテライト友の会会員も参加し、学生と交流しながら見学しました。

【協力企業・団体等】（敬称略）

日本レンズ工業株式会社、西田三レンズ製作所
松浪硝子工業株式会社
京都大学原子炉実験所
原子燃料工業株式会社（熊取事業所）
地方独立行政法人 大阪府立産業技術総合研究所
岸和田市役所（政策企画課・産業政策課）ほか



■大学院システム工学研究科と観光課の連携

岸和田市産業振興部観光課からの依頼（p20）を受けて、本学大学院システム工学研究科大ゼミが岸和田の観光活性化についてのワークショップに取り組み、3月8日「岸和田藩 食の宴」イベントでは、LEDなどを用いた燈（あかり）のインスタレーションを実施しました。



■クリエ映像プロジェクトと観光課の連携

岸和田市産業振興部観光課からの依頼（p20）を受けて、本学のクリエ映像プロジェクトの学生が岸和田市の観光動画を作成しました。



(3) 岸和田サテライト友の会

岸和田サテライト友の会は、受講者（授業および「わだいな浪切サロン」）の同窓会的組織です。会員の企画運営による夏季および冬季講演会、市民フェスティバルへ出展に際して、岸和田サテライトは事務局として活動の支援と協力をおこないました。

■夏季講演会

○開催 7月19日（土）13時～16時半（於：岸和田市立浪切ホール研修室）

○内容

修士論文報告

「所得税法56条に関する一考察 ―生計を一にする者の所得の帰属について―

松下盛子 氏（和歌山大学大学院経済学研究科修了生）

講演 「岸和田とレンズ産業」

藤田和史（経済学部准教授/サテライト長）

後期サテライト開講授業説明

○参加者 33名（友の会会員、一般参加者）



■冬季講演会

○開催 2015年2月14日（土）14時～16時（於：岸和田市立浪切ホール研修室）

○内容

DVD上映 「生命のことづけ ―死亡率2倍 障害のある人たちの3.11―

基調提起 「災害時の避難で留意しておくこと ―避難困難者への対応―

西川一弘（地域連携・生涯学習センター講師）

発表&討論

東谷 太 氏（NPO 法人自立生活センター・いこらー代表）

三林達哉 氏（岸和田市社会福祉協議会）

次年度前期サテライト開講授業説明

○参加者 31名（友の会会員、一般参加者）



■第37回岸和田市民フェスティバル

(協力:今西 武 防災研究教育センター客員教授、岸和田市危機管理課)

○開催 5月3日(祝)(於:岸和田市中央公園グラウンド)

○内容

パネル展示: 岸和田市津波ハザードマップ、和歌山大学防災研究教育センター・岸和田サテライトの事業内容等

展示と説明: 丸太こんろ「木いぶ」、ペール缶コンロ

製作体験: 新聞紙とペットシートを使った「マイトイレ」

○参加者 約360名(うち製作体験97名)



■岸和田市市民活動パネル展(10月7日~14日 岸和田市役所)

岸和田市で活動する団体が活動をPRするパネル展に岸和田サテライト友の会が出展し、会の活動紹介パネルを展示しました。



■幹事会

夏季・冬季講演会の企画や来年度の市民フェスティバル参加に向けて、1~2ヵ月ごとに幹事会を開催、役員とサテライトスタッフが協力して運営をおこないました。



5 連携組織

(1) 組織体制

◆地域連携戦略ビジョン・アクションプランの策定

2014年5月7日の和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会において、「和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン 2014-2023」「同アクションプラン 2014-2016」が承認されました。ビジョンは今後10年間の大学と市の連携の指針となり、アクションプランは3年ごとの事業計画となります。



◆ローリング方式によるアクションプランの成果等評価

上記アクションプランに沿った2014年度の事業実施状況について、年度末には評価シートを用いて検証をおこないました。4つの「目指す姿」のもと11の各事業項目について、定量的・定性的評価をおこない、抽出した課題は次年度のアクションプランへ反映させました。



■和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会

5月7日、山本健慈 和歌山大学長、信貴芳則 岸和田市長をはじめとする会員の出席により、今年度の協議会を開催しました。

2013年度事業報告、2014年度事業方針および事業計画案の承認に続いて、連携事業全般についての意見交換がおこなわれました。

(岸和田市役所)



■和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会

地域連携推進協議会のもと、連携事業の企画・運営・調整を担う企画運営委員会を、2014年度は5回開催しました。

第1回 4月23日 (於：岸和田市役所)

第2回 6月2日 (於：和歌山大学)

第3回 10月29日 (於：岸和田市役所)

第4回 12月24日 (於：和歌山大学)

第5回 2015年2月20日 (於：岸和田市役所)

■調整会議

和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会のもと、大学と市の日常的な情報交換と地域連携業務の調整を図るため、月例で調整会議を実施しています。岸和田市政策企画課担当者、サテライト長、副サテライト長、社会連携課職員、地域連携コーディネーター、事務補佐員が出席する調整会議に加えて、担当者レベルでの臨時調整会議を必要に応じて開催し、9回の会議をおこないました。

■和歌山大学岸和田サテライト連携協議会

岸和田サテライトの活用促進を目的とする連携協議会が、市内の産業団体（JAいずみの、岸和田商工会議所、大阪鉄工金属団地協同組合）、岸和田市教育委員会、岸和田市企画調整部および和歌山大学の役職者を委員として組織されています。

7月15日、2014年度連携協議会が開催し、2013年度事業報告および会計監査報告、2014年度事業計画の報告、意見交換等をおこないました。（岸和田市役所）



(2) 学内外における研修会・シンポジウムなどへの地域連携コーディネーターの参加

■第3回地域と大学を繋ぐコーディネーターのための研究実践セミナー

11月20日・21日、大学の地域連携にかかわる業務を担当する教職員の研究研修事業として、本学地域連携・生涯学習センター主催の合宿形式のセミナーを岸和田市立浪切ホールで開催しました。

和歌山大学を代表して、岸和田サテライトより先駆的事例報告「大都市圏郊外自治体との連携とCDの役割ー岸和田市との連携を中心にー」をおこない、分科会では、岸和田市役所政策企画課より「自治体側からみた地域連携戦略ビジョン」と題して発表がありました。(資料編C-1、C-2参照)



開会あいさつ



事例報告



分科会

■東アジア平生教育国際フォーラム、平生教育振興院・国立公州大学校訪問

(神谷 6月16日～20日 大韓民国忠清南道)

■岸和田市教育委員会評価委員会傍聴 (西田 7月28日 岸和田市役所)

■社会教育推進全国協議会 (西田 8月23～25日 山梨県南都留郡)

■生涯学習フォーラム (日韓研究・実践交流会)

(神谷 西田 8月29日 和歌山大学地域連携・生涯学習センター)

■防災講演会「地域を守り抜く力! -災害に強い紀伊半島を共に- in 和歌山市」

(西田 9月20日 和歌山ビッグ愛)

■「図書館とまちづくり」 (神谷 西田 9月28日 岸和田市立図書館)

■南紀田辺マッピングパーティー (神谷 10月11日 和歌山県田辺市)

■ベンチャー創出シンポジウム (神谷 10月14日 和歌山大学)

■大阪府立大学第3回COCフォーラム

(神谷 西田 2015年2月5日 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス)

■大阪市立大学第4回COCフォーラム

(神谷 西田 2015年2月19日 大阪市立大学杉本キャンパス)

■岸和田市議会平成27年第1回定例会本議会傍聴

(西田 2015年2月24日 岸和田市役所)

■「ひとを創る。ひとが創る。地方創生フォーラム」

(神谷 2015年3月20日 東京千代田区)

(3) 事業広報活動・協力

■ウェブサイト、Facebook ページの運営

岸和田サテライトウェブサイト・ブログにおいて、各種事業の開催案内や実施後の記録公開など、速やかな情報発信に努めました。また、最近の SNS による情報発信の普及にともない、今年度より岸和田サテライト Facebook ページを開設し、より多面的にサテライトの情報にアクセスしやすくなりました。

■「岸和田サテライト通信」発行

サテライトの事業を定期的に学内外に紹介するために、「岸和田サテライト通信」(vol.14-16) を発行しました。



■岸和田商工会議所『きしわだ所報』連載

岸和田商工会議所の会報『きしわだ所報』に4月号～9月号まで、産学連携・研究支援センター似内映之准教授が「産学連携のはなし」、10月号～3月号まで、教育学部阿部英之助特任准教授が「夢の種を蒔く学校と地域社会」のタイトルで連載コラムを掲載しました。



■浪切ホール『ナミトモ』

浪切ホール広報リーフレットに「わだいなみサロン」をはじめとする岸和田サテライト事業の案内を掲載しました。



■岸和田サテライトリーフレット

岸和田サテライトの機能、業務をコンパクトに紹介しています。



■和歌山大学説明会（入試課・各学部）

6月8日、岸和田市立浪切ホールにて「和歌山大学説明会 in 岸和田」を開催し、地域の高校生、保護者など約100名の参加がありました。



■和歌山大学・大阪府立大学合同シーズ発表会（システム工学部）

11月10日、岸和田市立浪切ホールにて、両大学（和歌山大学大学院システム工学研究科・大阪府立大学大学院工学研究科）の研究者26名が研究シーズを発表しました。



■産官学交流会（産学連携・研究支援センター）

12月2日、本学にて、「食品・農業（川上～川下）」をテーマに産学官交流会が開催され、岸和田市からは産業政策課職員、政策企画課職員が参加しました。



■視察受け入れ等の協力

6月26日、大阪教育大学学生1名が大学の地域連携をテーマにヒアリング調査に訪れました。

11月27日、大阪教育大学授業「生涯教育と高等教育」にて、神谷千春 地域連携コーディネーターが社会人の大学での学びについて、岸和田サテライトの現状をふまえて報告しました。

(4) 地域における情報共有

月例の「岸和田市協働推進チーム会議」に地域連携コーディネーターが参加し、岸和田市自治振興課、政策企画課、生涯学習課、岸和田市ボランティアセンターなどの担当者とともに、情報交換、地域の課題共有、各種事業の調整などをおこないました。



(5) 地域からの問い合わせ対応

2014年4月～2015年3月、電話、電子メール、訪問などによる160件の問合せ・相談がサテライトオフィスに寄せられました。各問合せ・相談に対して、回答、資料送付、本学各担当部署への照会などを行い、速やかに対応しました。

<主な内容>

- ・サテライト開講授業（募集要項、開講内容、大学院への進学など）について
- ・サテライトや学内の事業（「わだいなぎサロン」、各種セミナーなど）について
- ・サテライトの業務内容、業務時間などについて
- ・本学の入試（大学案内、一般・推薦・社会人入試など）について
- ・教員免許状更新講習について
- ・その他（教員との面談希望、本学の教育内容・就職状況など）

資料編

目次

A-1	岸和田サテライト開講授業 科目名・受講生数一覧	33
A-2	岸和田サテライト受講生のべ人数の推移	36
A-3	岸和田サテライト開講授業 受講生数および岸和田市・在勤者の推移	36
A-4	2014年度 受講生アンケート結果	37
B-1	わだい浪切サロン参加者数と岸和田市民の割合（回別）	43
B-2	わだい浪切サロン参加者数と岸和田市民の割合（年度別）	44
B-3	わだい浪切サロン参加者における男女比および岸和田市民の割合（70回計）	44
C-1	第3回地域と大学を繋ぐコーディネーターのための研究実践セミナー資料1	45
C-2	第3回地域と大学を繋ぐコーディネーターのための研究実践セミナー資料2	50
D	岸和田市附属機関委員等の就任状況	51
E	活動記録	52
F	和歌山大学組織図（2014）	54
G-1	和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会名簿	55
G-2	和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会名簿	55
G-3	和歌山大学岸和田サテライト連携協議会名簿	56
G-4	和歌山大学岸和田サテライト教職員名簿	56

A-1 岸和田サテライト開講授業 科目名・受講生数一覧 (2006年度～2014年度)

年度	学期	区分	科目名	担当	岸和田	本学	小計	合計
2006	前期	大学院	地域経済論	経済学研究科	12	2	14	70
			地域政策	経済学研究科	10	1	11	
		大学院	初等教育特論A	教育学研究科	6	1	7	
	後期	大学院	経営情報処理	経済学研究科	7	1	8	
			地域情報ネットワーク	システム工学研究科	6	1	7	
			企業経営論	経済学研究科	15	2	17	
		大学院	初等教育特論B	教育学研究科	6	0	6	
2007	前期	大学院	中心市街地活性化論	経済学研究科	6	3	9	84
			現代日本経済論	経済学研究科	14	3	17	
			公共経営論	経済学研究科	9	1	10	
		大学院	初等教育特論C	教育学研究科	4	0	4	
	後期	大学院	カントリーライフ学	経済学研究科	14	4	18	
			地域情報ネットワーク	システム工学研究科	5	2	7	
			現代企業経営論	経済学研究科	13	2	15	
大学院	学校リスクマネジメント特論A	経済学研究科	4	0	4			
2008	前期	大学院	現代行政作用法	経済学研究科	7	5	12	92
			経営学特論	経済学研究科	15	2	17	
		大学院	初等教育特論A	教育学研究科	3	4	7	
		学部開放	観光ーぎのう、きょう、あす	観光学部	5	5	10	
	後期	大学院	グローバル経済論	経済学研究科	9	5	14	
			自然環境・環境保全研究	システム工学研究科	4	0	4	
			現代日本税制論	経済学研究科	3	3	6	
			観光まちづくり研究	観光学部	6	4	10	
		大学院	初等教育特論B	教育学研究科	3	3	6	
		学部開放	世紀初頭における日本と英国の小説	経済学部	2	4	6	
2009	前期	大学院	経営史特論	経済学研究科	13	5	18	139
			地域産業クラスター論	論経済学研究科	9	17	26	
			現代日本地方財政論	経済学研究科	11	8	19	
			現代の社会政策	経済学研究科	9	7	16	
		大学院	初等教育特論A	教育学研究科	2	1	3	

2009	後期	大学院	原価計算論	経済学研究科	5	1	6	
			税法と税務行政	経済学研究科	12	4	16	
			所得課税論	経済学研究科	6	4	10	
			生活環境計画論	システム工学研究科	9	5	14	
		学部開放	岸和田藩の歴史	教育学部	7	4	11	
2010	前期	大学院	租税法総論	経済学研究科	7	16	23	208
			現代家族生活と民法	経済学研究科	12	19	31	
			都市近郊農業論	経済学研究科	8	19	27	
			環境・自然エネルギー革命	経済学研究科	6	8	14	
		大学院	初等教育特論A	教育学研究科	3	1	4	
		学部開放	地域とグローバル化	観光学部	4	0	4	
	後期	大学院	資産課税論	経済学研究科	6	19	25	
			現代経営論	経済学研究科	10	14	24	
			地方都市の地域づくり	経済学研究科	9	23	32	
			地元学特論	経済学研究科	2	13	15	
		大学院	初等教育特論B	教育学研究科	4	1	5	
		学部開放	デザイン情報学入門	システム工学部	3	1	4	
2011	前期	大学院	租税争訟法	経済学研究科	1	14	15	166
			会社法特論	経済学研究科	2	12	14	
			地域産業史	経済学研究科	5	16	21	
			現代日本中小企業論	経済学研究科	9	11	20	
		学部開放	観光入門	観光学部	11	3	14	
	後期	大学院	法人課税論	経済学研究科	1	18	19	
			地方都市の交通とまちづくり	経済学研究科	8	15	23	
			現代企業経営論	経済学研究科	5	16	21	
			会計学原理	経済学研究科	3	9	12	
		学部開放	みんなの科学入門	システム工学部	5	2	7	
2012	前期	大学院	国際租税法特論	経済学研究科	1	10	11	116
			租税法特論	経済学研究科	2	1	3	
			会社法特論	経済学研究科	1	3	4	
			現代社会と民事紛争	経済学研究科	7	8	15	
		学部開放	日本史の深層	教育学部	12	4	16	

2012	前期	学部開放	世界の音楽	観光学部	8	10	18	
	後期	大学院	公共経営論	経済学研究科	9	4	13	
			法人課税論	経済学研究科	0	4	4	
			現代マーケティング論	経済学研究科	3	4	7	
			連結会計特論	経済学研究科	1	11	12	
学部開放	身の回りのメカトロニクス機器のしくみ	システム工学部	12	1	13			
2013	前期	大学院	国際租税法特殊問題	経済学研究科	3	5	8	154
			租税法特殊問題	経済学研究科	4	3	7	
			現代社会と民法	経済学研究科	10	10	20	
		学部開放	デザイン情報学入門	システム工学部	12	3	15	
			地域における博物館活動と図書館活動	附属図書館紀州研	9	3	12	
	後期	大学院	租税法英米判例特殊問題	経済学研究科	3	7	10	
			法人税法特殊問題	経済学研究科	7	5	12	
			公共経済学特殊問題	経済学研究科	6	3	9	
			財務諸表論特殊問題	経済学研究科	6	7	13	
			政策形成論	経済学研究科	4	10	14	
学部開放	地域環境・自然エネルギー革命	経済学部	15	8	23			
	ジェロントロジースポーツ	教育学部	4	7	11			
2014	前期	大学院	租税法英米判例特殊問題	経済学研究科	5	1	6	175
			会社法特殊問題	経済学研究科	3	8	11	
			法人税法特殊問題	経済学研究科	3	8	11	
			公共経営論	経済学研究科	4	11	15	
		学部開放	高齢化社会の住まいと地域環境	観光・システム工学・教育	21	3	24	
			みんなの科学入門	システム工学部	9	1	10	
	後期	大学院	租税争訟法特殊問題	経済学研究科	3	7	10	
			租税法実務特殊問題	経済学研究科	4	12	16	
			地方都市の地域マネジメント	経済学研究科	10	8	18	
			財務会計論特殊問題	経済学研究科	3	12	15	
学部開放		西ヨーロッパの文学と社会	教育学部	11	5	16		
	食と農の経済学	経済学部	12	11	23			
合計							1204	

A-2 岸和田サテライト受講生人数の推移 (2006年度～2014年度)

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	合計
大学院	70	84	76	128	200	145	69	93	102	967
学部開放	—	—	16	11	8	21	47	61	73	237

(備考)

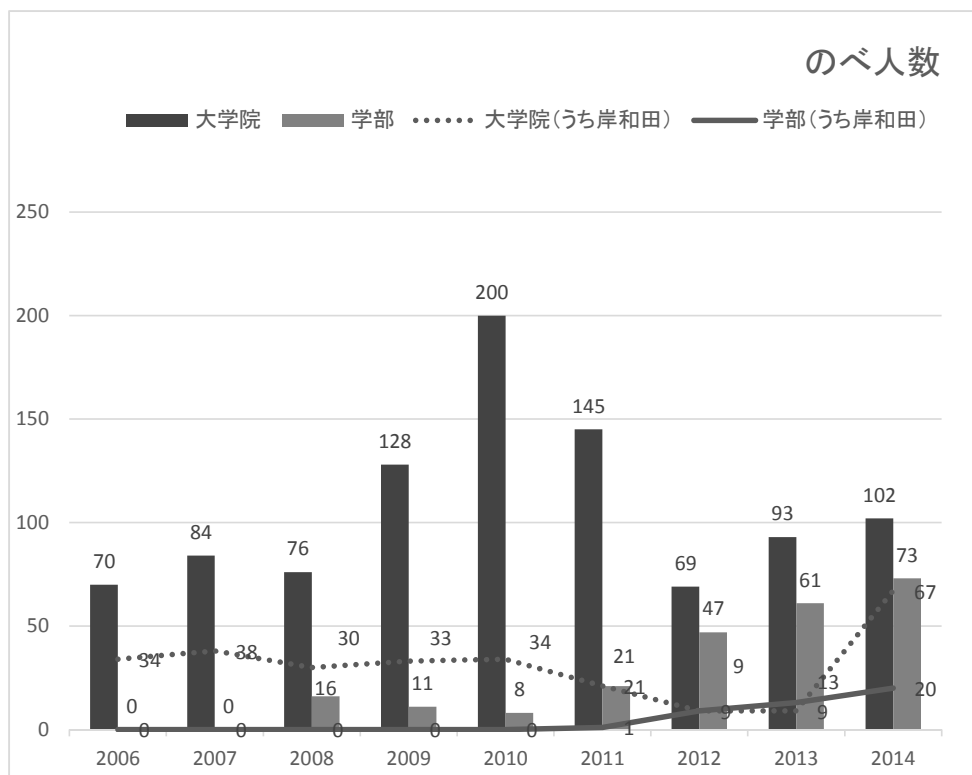
2006年度 大学院経済学研究科および教育学研究科授業開始

2008年度 学部開放授業開始

2009年度 大学院経済学研究科租税法研究(専門研究)開始

2011年度 大学院経済学研究科科目の栄谷院生の一部履修制限実施、大学院教育学研究科科目休止

A-3 岸和田サテライト開講授業(大学院・学部開放)受講生数および岸和田市民・在勤者の推移



A-4 2014 年度 受講生アンケート結果

1. 回答数 78 (学部開放授業と大学院科目等履修の重複履修者あり)

区分	学部開放授業受講生	学部生	大学院科目等履修生	大学院生
回答	39	11	13	15 (岸和田・栄谷)

2. 回答者属性

(1) 年齢(未回答あり)

年齢	10代				20代				30代				40代			
	1				8				16				8			
区分	0	1	0	0	0	5	3	0	11	0	2	3	6	0	2	0

50代				60代				70代以上			
8				22				12			
4	4	0	0	21	0	1	0	12	0	0	0

(2) 性別(未回答あり)

性別	男				女			
	55				18			
区分	31	6	7	11	8	5	2	3

(3) 職業(未回答あり)

職業	会社員等				自営業				公務員・教員				家事・育児・介護等			
	16				7				8				2			
区分	11	1	1	3	6	0	1	0	4	0	4	0	2	0	0	0
職業	無職				学生(専業)				その他							
	26				9				4							
区分	26	0	0	0	1	8	0	0	3	0	1	0				

(4) 居住地および勤務地 (未回答あり)

	居住地 (区分)					勤務地 (区分)				
岸和田市	16	9	5	1	1	8	7	0	1	0
泉南地域 (貝塚市～岬町)	17	12	5	0	0	5	5	0	0	0
泉北地域 (堺市～忠岡町)	6	4	1	0	1	0	0	0	0	1
大阪市	2	1	1	0	0	10	6	4	0	0
その他大阪府内の市町	7	5	0	0	2	3	1	0	0	2
和歌山県	18	11	6	1	0	2	1	0	1	0
兵庫県	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3. 受講の動機 (複数回答可)

	人数	(区分)			
将来または現在の仕事に役立てたいから	17	2	2	6	7
専門的な知識を身につけたいから	13	1	5	2	5
社会活動・地域活動に生かしたいから	15	11	1	3	0
教養を深めたいから	27	14	7	3	3
知らない学問分野を学びたいから	32	21	7	2	2
大学・大学院の講義を受けたいから	14	2	5	3	4
授業のテーマに関心があったから	38	21	7	6	4
学び続けたいから	24	15	4	4	1
大学院へ進学したいから	3	0	1	2	0
修士学位・資格 (税理士) を得たいから	9	0	2	3	4
学びを通じた交流ができるから	18	14	1	1	2
その他	3	1	0	2	0

4. 授業の評価《感想・意見・要望等》

□学部開放前期 「みんなの科学入門」

シラバスには記載されていない参考資料が、授業の中で記載されている。事前に内容が判明していれば、入手先や書籍名等を教えて欲しい。
副題の「身の回りの材料と科学技術」とある様に、もっと身近な科学をしてくれると思ったが、公式等あり、少し実生活と離れた現象であり難しかった。
教室の環境では、冷房がキツすぎて困った。設備の関係で調整が難しいかもしれませんが、室内での温度調整は有効ではなかったようです。
授業内容は、ポイントが絞りがきれなかった様で、入門書の紹介を受けている印象でした。先生自身の考えや切り口をもう少し出して頂ければ有難いです。その意味で宇野先生の話は興味深かったです。
何はともあれ、3人の先生には、広範囲の内容をわかり易くまとめて頂いてありがとうございました。紹介頂いた参考資料も手にとってみたいと思っています。
今後も興味のある学部科目があれば、積極的に受講したいと思います。
システム工学部系の科目は面白いのですが、予備知識も含め、かなり素養が必要だと思います。
テーマをもう少し絞っていただければ、予習のためにも助かります。

□学部開放前期 「高齢化社会の住まいと地域環境」

個々の家の改良からグローバルな問題まで、いろんな課題があることを知りました。
議論の時間を取って頂いたことに感謝しています。
できれば、シラバス等に議論の時間があるということを強調して頂けたら有難いです。
先生それぞれの専門分野について幅広く学べたことがよかったです。
高齢化社会の現状と進んでいる方向性を学ぶ事が出来た。住居環境の対応が時代と共に変化している事が勉強になった。
先生が3人に分かれるので、どうしてもテーマが分散してしまうことが残念です。
個人的には、もう少し身近な内容を詳しく学びたい思いが残りました。
大学らしい豊富な引き出しを持ったテーマ設定を今後もして頂きたいを思いますし、楽しみにしております。今後も期待しております。

□学部開放後期 「西ヨーロッパの文学と社会」

資料等よく準備いただいた。感謝。後でじっくり読ませていただきます。
本授業を開設する為に精を尽くして頂きました小栗栖先生、千田先生、岸和田サテライトのみなさま、誠にありがとうございます。始終自分の読書量、文学、歴史に対する認識が乏しいと思い知る連続でしたが、とても有意義な授業になりました。誠にありがとうございました。
今まで触れることがなかった西ヨーロッパの文学を学べ貴重な体験ができました。グローバル化が叫ばれていますが、自国の文化を誇り、異国の文化を受け入れる度量がなければ、何も進みません。今回の講義を通して、西ヨーロッパの文化の背景、そこに暮らす人々の考え方(宗教観、倫理観、価値観等)を知ることができました。

<p>時系列をまたがって学ぶことは、新自由主義の下に拡大する格差問題(時代の転換期に出現する問題)の解決について役立つと考えます。</p> <p>温故知新、不易流行こそ、人が生きる上でのキーワードではないかと思えます。その意味からも今回の講義は大いに役に立ちます。ありがとうございました。</p>
<p>この講義は、今迄受けたことの無かった講義で面白かった。文学の読み方、理解の仕方が少しわかった。</p>
<p>期待していた以上に楽しく受講できました。</p>

□学部開放後期 「食と農の経済学」

<p>農業の歴史とこれからの展望などを勉強できてよかったです。</p>
<p>とても快適な空間で学習出来ました。サテライトの立地も駅から10分ほどなので通いやすかったです。動画(DVD)やレジュメが用意されていた講義だったので理解がともしやすかったです。</p>
<p>大学での大西先生の授業ともリンクしており、合わせて学ぶことでより理解することが出来ました。</p>
<p>農業の現実を詳しく知ることが出来ました。自分自身でも食の安心・安全を改めて考えることが出来ました。食と農の重要性は生活に密着しており、日本の課題であると感じました。有意義なお話を聞かせて頂けて良かったです。ありがとうございました。</p>
<p>問題提起について、ふみ込んだ議論をしていただきたかった。</p>
<p>配布資料の用紙サイズを統一してほしい(資料を纏めるのに、サイズが異なると整理しにくい)</p>
<p>次回講義内容の資料を前もって配布できないでしょうか。</p>

■大学院前期 「租税法英米判例特殊問題」

<p>ここでなければ接することができない、英米の文献等に当たることができてよかったです。</p>
--

■大学院前期 「会社法特殊問題」

<p>満足しています。</p>
<p>判例研究を通じて会社法の論点を学ぶことができた。</p>
<p>先生や皆様との討論がとても勉強になりました。</p>
<p>講師(先生)との交流の機会が無く、ふれあいの場があればと思います。(人と人の交わり)</p>
<p>資料等がなかったので、残念でした。</p>
<p>1日当たりの授業時間数(4時間)を3時間とし、日数がその分増えても良いのではないかと思います。(日数が増えることによる予算増となる問題があるかも知れませんが)</p>
<p>社会人(特に様々な業種)の方が受講にくる様にもっと宣伝してください。</p>
<p>受講生のレベルに差があったので、全体をとりまとめて、ある程度スムーズに進行できればもっと良かったと思う。</p>

■大学院前期 「法人税法特殊問題」

<p>いつも素晴らしいレジュメ等で、熱心に授業を行って下さいました。</p>
<p>非常に熱心に講義して下さい、資料も内容も充実していました。次回受講できる講義があれば是非参加したいです。</p>
<p>受講できて非常によかったです。個人的にも相談も出来、感謝しています。</p>

実務的な話から、色々と資料を引用し、大変満足のいく講義でした。自身の勉強が、他の学生とかなり差があった為、足を引っ張らないようにと、がんばって出席しましたが、難しい所もあり、まだまだ勉強不足を感じました。

■大学院前期「公共経営論」

内容的には充実したもので、私の人生にとっては、インパクトのあるものでした。ありがとうございました。

他学生との意見交換を通じ、新たな視点での考察力を身につけ、目的へのアプローチ力が向上できたのではないかと思います。利益の追求を目的としている基礎自治体に着目し、考察したことは初めての経験であり、興味深い体験ができました。

租税法の本が多いことは有難いです。

いつも先生方や岸和田サテライトスタッフの皆様が親切丁寧に対応して下さり本当にありがたいです。これからもよろしく願いいたします。

公務に携わる者としてとても勉強になるテーマでした。後期も気になるテーマがあり、履修を希望しているところです。次年度も江口先生の新たなテーマを希望しています。

授業の内容は非常に満足しています。大変有意義な時間を過ごすことができたと感じています。

個人的には、平日夜間よりも、土曜夜間の方が通いやすいです。

1回の授業時間ですが、4時間は長すぎる感がある。

受講生間の交流の機会があれば良いのですが。(これは受講生側で企画することかも知れませんが)

先生は平均的に早口言葉であるため、今までに聞いたことのない単語が出てきますと、それを理解しながら次のステップにまでの時間的な余裕がありません。もう少しゆっくり話をしていただければありがたいと思っています。

自習室のパソコンが遅く、壊れている？

可能ならば1回の授業時間は3時間程度を希望します。そのため回数が増えることは受容できます。(大学側としては回数が増えることは予算上問題があるかも知れませんが。)

自習室の利用時間を20時ごろまで延長してほしい。科目等履修生も利用できるよう検討してほしい。

■大学院後期「租税争訟法特殊問題」

授業内容の難易度が高く、理解や発表が大変だったが、普段は触れることのない法律なのでとても勉強になった。

発表者がよく勉強されておられ、大変勉強になりました。活発なディスカッションで楽しかった。

■大学院後期「租税法実務特殊問題」

税理士会の先生方のお話をたくさん聞いて大満足です。

様々な税理士の先生の話を知ることができたので見聞を広めることができました。

より実務に関する話を聞きたかったです。今後税理士を目指す上で、実際に自分が税理士になった場合、どのような働き方をしていくかが、よりイメージできるような内容だったら良かったです。税理士法の説明の授業は不要だったような気がします。

院生レベルの内容にしてほしい。ガイドブック的な一般論は不要。

多くの先生方が登場すると単発に終わり、結果、総花的な内容に分散してしまう。

間口は狭くとも深く掘り下げた話が聞きたい(絞られたテーマ)

■大学院後期 「財務会計論特殊問題」

限られた時間で、高度かつ広範囲の授業を行っていただきました。

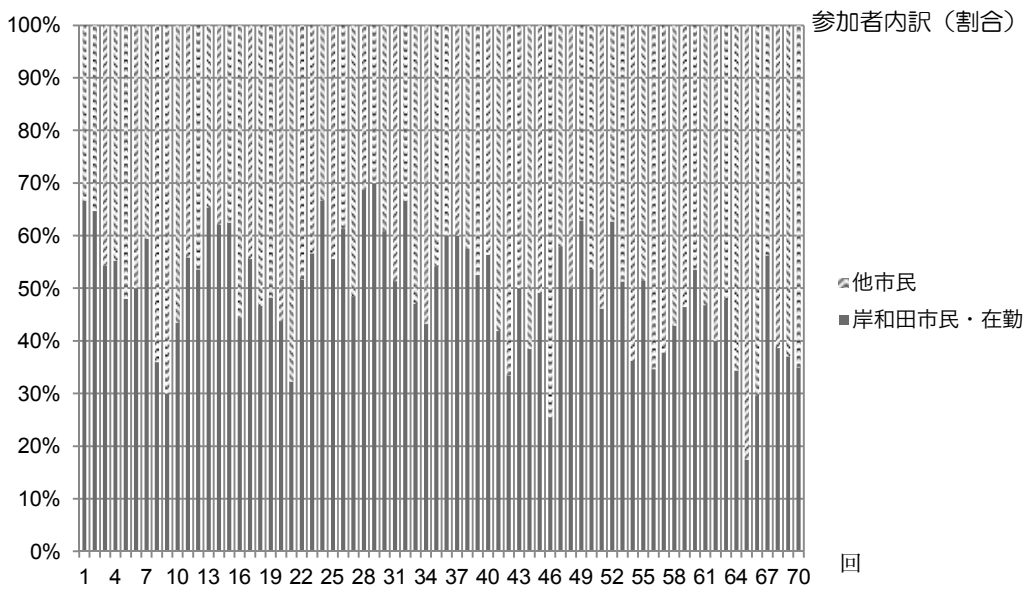
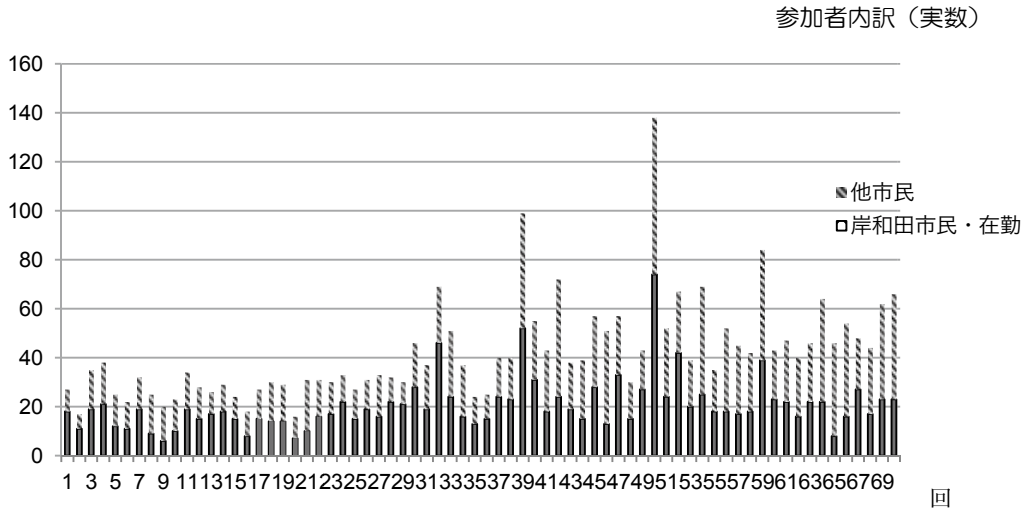
■大学院後期 「地方都市の地域マネジメント」

他の自治体の人達と意見のやりとりや、連絡先のやりとりができてよかったです。本当に色々なことを勉強できてよかったです。ありがとうございました。

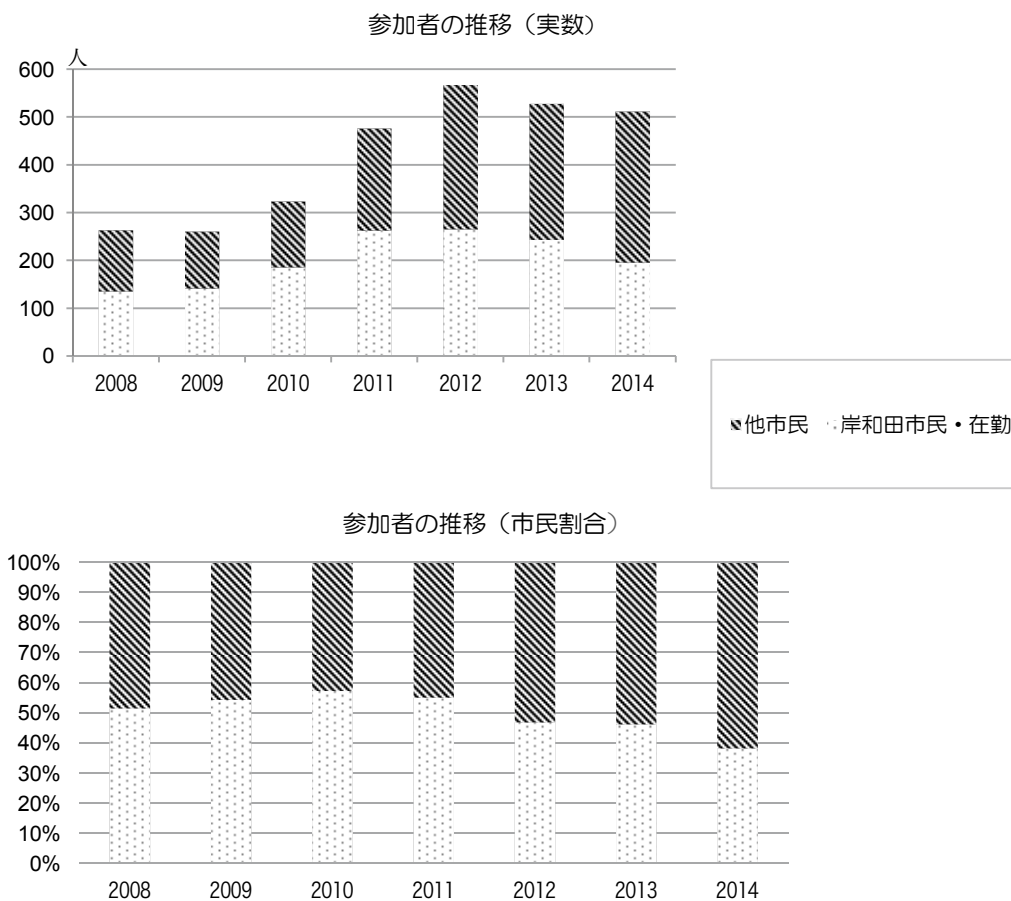
自治体現場で働く職員として、魅力的なテーマ設定で4人の先生から贅沢な時間を頂くことができました。科目受講ということで、時間的な制約があり、理解を深めるレベルまでは到達できていません。今後、岸和田サテライトの講座等へ参加していきたいと思います。

普段学習することの少ない分野で、複数の先生方から様々な観点で教えて下さった点が非常によかったです。また、最後の授業の日はグループワークで復讐ができて、なおかつ他の受講生の方々とお話しさせていただき、皆様の優秀さに感激しました。

B-1 わだいなげサロン 参加者数と岸和田市民の割合（回別）



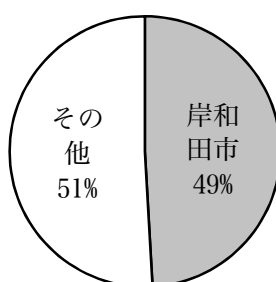
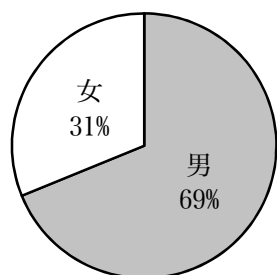
B-2 わだいな浪切サロン 参加者数と岸和田市民の割合（年度別）



B-3 わだいな浪切サロン 参加者における男女比および岸和田市民の割合（70回計）

性別	
男	2025
女	914
計	2939

住所（在勤含む）	
岸和田市	1433
その他	1506
計	2939



2014. 11. 20
第3回地域と大学を繋ぐコーディネーターのための研究実践セミナー
先駆的事例発表3

大都市圏郊外自治体との連携とCDの役割
—岸和田市との連携を中心に—

和歌山大学 岸和田サテライト

1. 岸和田サテライトの概要

(1) 岸和田サテライトのあゆみ

「なんば」・「和歌山大学前」から30分「岸和田」駅下車

授業・講座・イベントは 浪切ホール4Fと1Fの各施設を利用

2Fはオフィス、自習室

岸和田サテライトのあゆみ	
2002年	和歌山大学と岸和田市の連携同意
2003年	「和歌山大学・岸和田市地域連携推進協定書」調印式 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会・同企画運営委員会発足
2004年	「サテライト設置調査研究プロジェクトチーム」設置、報告書発行
2005年	プレ・サテライト事業実施(浪切ホール)
2006年	岸和田サテライト事務室を浪切ホールに開設 和歌山大学岸和田サテライト連携協議会発足 大学院科目開講(平日夜間・土曜日) サテライト長、副サテライト長、事務補佐員を配置
2007年	地域連携CD2配置(非常勤)
2008年	学部開放授業(教養科目)開講(土曜日) わだい浪切サロン第1回開催(水曜日)
2009年	大学院経済学研究科「租税法専門研究I」開講
2010年	和歌山大学ラボツアー—from岸和田 大学院経済学研究科「租税法専門研究II」開講 地域連携CD(特任職員)常勤配置
2011年	岸和田サテライト5周年記念フォーラム「わだい発! 地域創造と大学サテライト」 第2回和歌山大学ラボツアー—from岸和田
2012年	わだい浪切サロン50回記念開催 地域課題研究型プログラム実施(1年目)
2013年	地域課題研究型プログラム実施(2年目) 経済学部同窓会との共催セミナー開催

1. 岸和田サテライトの概要

(2) 主な事業とその特徴

(2) 主な事業とその特徴

事業

- 地域住民の多様な教育ニーズに対応した特色ある高等教育の実施
- 地域の課題をふまえた生涯学習機会の提供及び地域研究の推進
- 住民、自治体、企業等と連携した地域活性化に資する事業の実施
- 高校を含めた地域に対する大学情報の発信

特徴

- 地域活性化につながる人財、高度専門職業人・実務家などの育成のために、和歌山大学及び地域の資源を活用
- 地域の資源、特性、課題に配慮した生涯学習や連携事業を 現場発信で企画・実施
- 和歌山大学の学生、教職員、卒業生が多く在住する大阪南部・泉州地域における 本学の窓口・広報拠点

7

2. 岸和田サテライトにおける 各種連携の現状とCDの役割

(1) 連携の現状(4つの機能)と CDの役割

(1) 連携の現状(4つの機能)とCDの役割

① コミュニティ・キャンパス

○ 学部開放授業 (学生のみ単位認定・社会人は聴講)

- 【テーマA】 地域と暮らしの価値探究群(地域課題型)
- 【テーマB】 文化と生活の豊かさ探究群(文化・教養型)

開講に至るまで

学習ニーズや課題を把握し、提案、協議

↓
教員への打診、打ち合わせ、依頼

↓
事務手続き、学内関係先・地域FW等の調整
広報・募集

9

学部開放授業「高齢化社会の住まいと地域環境」(2014年度) <地域課題探求型>



バリアフリー、ユニバーサルデザイン、インクルーシブデザインについての講義

社会人と現役学生のディスカッション



10

学部開放授業「西ヨーロッパの文学と社会」(2014年度) <文化・教養型>

ドイツ文学、トーマス・マンの世界



中世ヨーロッパとフランス文学

11

(1) 連携の現状(4つの機能)とCDの役割

① コミュニティ・キャンパス

○ 大学院授業 (科目等履修制度・修士課程)

- 【租税法および関連科目】
主に税理士資格取得をめざす大学院生対象
- 【地域および自治体関連科目】
地域課題、自治体職員研修(マッセOSAKA)

授業編成は経済学部が担当。

CDは、履修生(社会人が大半)の募集と学修支援を担当。

例: 参考図書資料の購入、自習室整備、学部教務係との連絡、同窓会関係など

12

大学院科目「国際租税法」(2012年度)



13

(1)連携の現状(4つの機能)とCDの役割

②研究・連携

○【例】地域でのフィールドワークの実施に至るまで

担当教員、CDが企業へ依頼
(自治体、商工会議所などにも協力を依頼)



担当教員、CDが企業訪問



FW実施

14



経済学部授業「地域調査研究」(2014年度)
フィールドワーク(西田三レンズ製作所)

15

○【例】大学のシーズ紹介



ラボツアー(2010年度)
(産学連携・研究支援センター/防災研究教育センター協力)

16

(1)連携の現状(4つの機能)とCDの役割

③交流・活動

○学んだ成果を地域へ還元

【例】「岸和田サテライト友の会」の活動

友の会で「防災」をテーマに自主的な学習を
続ける



市民フェスティバルで学習の成果を発表



新たな活動団体、地域とのつながりへ

17



友の会活動: 岸和田市民フェスティバル出展
(2014年度)

18

(1) 連携の現状(4つの機能)とCDの役割

④生涯学習

○【例】わだいな浪切サロン

住民の学習ニーズ(アンケート、地域課題など)と
大学シーズの把握



テーマに合った教員を探したり、紹介してもらったりする



教員への打診、打ち合わせ



各学部等へ依頼、事務手続き

19



第61回わだいな浪切サロン「百人一首カルタで学ぶ王朝和歌」
(2014年度)

20



地域課題研究型プログラム
「住み慣れた地域で暮らし続けるために
—ミドル期からのライフデザインセミナーⅡ—」
(2013年度)

21

2. 岸和田サテライトにおける 各種連携の現状とCDの役割

(2) 連携を支える組織運営

(2) 連携を支える組織運営

①岸和田市との連携

和歌山大学・岸和田市地域連携推進協定に基づく各会議
協議会→企画運営委員会→調整会議(実務者レベル)

②学内の連携

- ・地域創造支援機構推進会議
- ・地域連携・生涯学習センター企画運営委員会

③その他の連携

- ・岸和田市協働推進チーム会議(自治振興課、生涯学習課、市立図書館、人権推進課、社会福祉協議会、岸和田サテライト → 相互の取組みの紹介、意見交換
- ・「岸和田サテライト友の会」活動支援

23

3. 課題と展望

(1) 自治体連携を通じて

(1) 自治体連携を通じて

「和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン
(2014-2023)
「和歌山大学・岸和田市地域連携アクションプラン」
(2014-2016)の策定と効果的な運用

大学の地域連携方針・自治体の大学連携政策
としてのビジョン・プラン(分科会 I-3で紹介)

25

(1) 自治体連携を通じて

学内・庁内における担当部局を超えた
横断的な連携の難しさ

- ともに地域課題の取組のためのCDとして
- 各部局の独自性の尊重
- より効果的・効率的な連携のための「内の連携」
- 媒体であり主体でもあるCD

26

(2) 課題から考えるCDの役割と展望

計画的な事業推進と機動的な連携対応

- できること・できないことの見極め
- しなくてはいけないこと、すべきではないことの判断
- すべてのステークホルダーの負担感の低減
- 共通の目的(課題解決)のための連携

27

(2) 課題から考えるCDの役割と展望

大学と自治体双方の持続的な人財の配置

- 学内・庁内の知識と経験を蓄積
- 知識と経験を学内・庁内に循環させる
→連携の認知向上、質の向上、新たな創造
- 人事交流や複合(体)連携の可能性

28

2014. 11. 20
第3回地域と大学を繋ぐコーディネーターのための研究実践セミナー
分科会3

自治体側からみた
「地域連携戦略ビジョン」

1

岸和田市企画調整部政策企画課

役所は「プラン」がお好き？

岸和田市にある計画

「第4次総合計画」
「人権施策推進プラン」
「男女共同参画推進計画」
「DV対策基本計画」
「都市計画マスタープラン」
「景観計画」
「保健計画」
「第3次障害者計画」
「交通バリアフリー基本構想」
「温暖化対策実行計画」
「子ども読書活動推進計画」
「学校教育施設耐震化計画」
「第2次生涯学習計画」
...etc

ほんの、ごく一例

⇒もっと機動的に事業展開できないの？

2

人口20万人って中途半端かも・・・

もっと小さい自治体なら
他の部署の仕事が見える
住民の顔が見える

もっと大きい自治体なら
1つの仕事に専任の担当者を配置できる
スケールメリットを生かした財政力

⇒ どちらも岸和田は難しい

3

自治体職員の立場から見る「計画」

多くの自治体職員にとって、
「大学連携」は担当してみても初めて知る仕事

⇒ 「計画」があれば、複数の仕事を抱えていてもプレッシャーにできる
「計画」があれば、他の職員に自分の仕事を説明できる
「計画」があれば、担当者が代わっても仕事を引き継げる

首長選挙のたびに、自治体の考え方が180° 変わってしまうこともある。
⇒選挙で選ばれる人が「大学との連携」に理解のある人とは限らない。

行政を知らない人でも市長になれる

「計画」があれば、大学との連携に理解のない人にも説明ができる
⇒安定した事業継続のためには、明文化された「計画」が欲しい
⇒大学と自治体との連携にも「計画」が欲しい

4

「人事異動」をどう考える？

せっかくCDさんが自治体職員と人間関係を作っても
数年で自治体側の担当者が変わってしまう

そのたびに、
大学との地域連携を知らない職員が配置される

⇒ それをプラスに受け取ってほしい。

5

自治体の職員に、人事異動は避けて
通れない

たいていの自治体職員は、異動しても市内に残る。
自治体の「大学連携担当」OBは、
他の部署に行ってもCDの味方。

⇒ 自分の味方を自治体内部に作っている

大学連携担当OBが他部署に行けば
「これ、大学と一緒にやればおもしろいかも」と気づくことができる

自治体職員は異動すると
全く違う分野の仕事になる

⇒自治体側にとって、大学との連携メリットを活かすしくみ

6

地域の人はずっと変わらない

地域の人、行政よりずっと機動的。

- ▶ 「おもしろい」と思ったら、すぐ行動。
- ▶ 一度結びついたら、地域の人はずっと変わらない

岸和田では、和太サテライトが地域連携の拠点の役割を担っている

本学の中の「地域連携担当部署」は、
 本学の外にあることで「自分の地域の窓口」感が出る
 地元の人にとっては、もっと敷居が高いかも？

地域の人々と結びつく

- ▶ そのために自治体職員が使えることもある…はず

7

D 2014年度岸和田市附属機関等委員就任状況

附属機関名	教員名	所属
外部評価委員会	金川めぐみ	経済学部准教授
環境審議会	原 祐二	システム工学部准教授
環境審議会	吉田 登	システム工学部教授
生物多様性地域戦略部会	中島 敦司	システム工学部教授
子ども子育て会議	米澤 好史	教育学部教授
都市計画審議会	宮川 智子	システム工学部准教授
建築審査会	足立 基浩	経済学部教授
開発審査会	堀田祐三子	観光学部教授
景観審議会	堀田祐三子	観光学部教授
産業活性化推進委員会	藤田 和史	経済学部准教授
教育委員会評価委員会	久保富三夫	教育学部教授

E 活動記録

(場所の記載のないものは岸和田サテライト)

■2014年4月

- 07 岸和田市民フェスティバル説明会
(岸和田市職員会館)
- 10 経済学研究科新生ガイダンス (本学)
- 16 第61回わだい浪切サロン
- 18 調整会議1
- 19 岸和田サテライト友の会幹事会1
- 23 第1回企画運営委員会 (岸和田市役所)
- 29 岸和田市民フェスティバル打ち合わせ (中央公園)

■5月

- 02 岸和田市民フェスティバル設営 (中央公園)
- 03 岸和田市民フェスティバル (中央公園)
- 07 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会
(岸和田市役所)
- 11-12 大学教職員新人研修 (西田 CD) (岬町)
- 16 協働推進チーム会議 (市立公民館)
- 21 第62回わだい浪切サロン
- 23 調整会議2

■6月

- 02 第2回企画運営委員会 (本学)
- 08 大学説明会 in 岸和田取材 (浪切ホール)
- 09 岸和田市教育委員会評価委員会傍聴
(岸和田市役所)
- 12 「韓国の生涯学習を学ぶ」
(本学地域連携・生涯学習センター)
- 13 CDセミナー打ち合わせ (いよやかの郷)
- 16-20 東アジア生涯学習フォーラム、公州大学校ほか視察
(大韓民国忠清南道・神谷 CD)
- 18 第63回わだい浪切サロン
- 20 協働推進チーム会議 (市立公民館)
- 21 岸和田サテライト友の会幹事会2
- 23 「地域調査研究」企業訪問依頼
(日本レンズ工業株式会社)
- 23 わだい浪切サロン打ち合わせ (本学)
- 25 第53回特別支援教育コーディネーターフォーラム
(岸和田会場・浪切ホール)
- 26 大阪教育大学学生卒論研究インタビュー対応
- 26 岸和田市産業振興部打ち合わせ

(本学産学連携・研究支援センター)

■7月

- 11 市立産業高校経済学部見学同行取材 (本学経済学部)
- 15 和歌山大学岸和田サテライト連携協議会
(岸和田市役所)
- 16 第64回わだい浪切サロン
- 17 救命救急講習参加 (本学・西田 CD)
- 18 協働推進チーム会議 (市立公民館)
- 18 調整会議3
- 18 臨時調整会議
- 19 岸和田サテライト友の会・夏季講演会、授業説明会
(浪切ホール)
- 28 岸和田市教育委員会評価委員会傍聴
(岸和田市役所)

■8月

- 04 「地域調査研究」打合せ (松浪硝子工業株式会社)
- 06 「地域調査研究」打合せ (京都大学原子炉実験所、原子燃料工業株式会社、大阪府立産業技術総合研究所)
- 06 近畿税理士会和歌山支部・経済学部懇談会 (本学)
- 19-22 「地域調査研究」フィールドワーク協力
- 22 協働推進チーム会議 (市立公民館)
- 社会教育推進全国協議会 (山中湖・西田 CD)
- 29 第54回特別支援教育コーディネーターフォーラム
(岸和田会場・浪切ホール)
- 地域連携・生涯学習センター主催生涯学習フォーラム
(和歌山市)

■9月

- 02 学内調整会議
- 03 CDセミナー打ち合わせ
(本学地域連携・生涯学習センター)
- 17 第65回わだい浪切サロン
- 20 防災講演会 (和歌山市)
- 22 学内調整会議 (本学)
- 24 第55回特別支援教育コーディネーターフォーラム
(岸和田会場・浪切ホール)
- 26 協働推進チーム会議 (市立公民館)

- 28 市立図書館講演「図書館でまちづくり？」(岸和田市立図書館)

■10月

- 04 岸和田サテライト友の会幹事会3
06 市民活動パネル展示(岸和田市役所)
08 岸和田市社会福祉協議会打ち合わせ(福祉センター)
11 南紀田辺マッピングパーティー(和歌山県田辺市)
11 Facebook ページ開設
14 CD セミナー会議(本学)
15 第66回わだいな浪切サロン
22 第56回特別支援教育コーディネーターフォーラム(岸和田会場・浪切ホール)
24 協働推進チーム会議(市立公民館)
29 第3回企画運営委員会(岸和田市役所)
29 独創的研究支援プロジェクト打ち合わせ(本学)

■11月

- 10 大阪府立大学・和歌山大学工学研究シーズ合同発表会
12 CD セミナー会議(本学)
19 第67回わだいな浪切サロン
20-21 「第3回地域と大学を繋ぐコーディネーターのための研究実践セミナー」(浪切ホール、いよやかの郷)
26 調整会議4
26 第57回特別支援教育コーディネーターフォーラム(岸和田会場・浪切ホール)
28 協働推進チーム会議(市立公民館)
29 岸和田サテライト友の会幹事会4

■12月

- 02 和歌山大学産学官交流会(本学産学連携・研究支援センター)
10 調整会議5
15 特別支援教育コーディネーターフォーラム打ち合わせ(本学教育学部)
15 システム工学研究科・市観光課ワークショップ(本学)
17 第68回わだいな浪切サロン
24 第4回企画運営委員会(和歌山大学)
25 独創的研究支援プロジェクト研究会(本学) システム工学研究科ワークショップ発表会(本学)

■2015年1月

- 10 友の会冬季講演会打ち合わせ(岸和田市社会福祉協議会)
13 調整会議
19 わだいな浪切サロン打ち合わせ(和歌山市)
20 わだいな浪切サロン打ち合わせ(本学)
21 第69回わだいな浪切サロン
23 協働推進チーム会議(市立公民館)
24 岸和田市いきいき市民のつどい(産業会館)
26 調整会議6
28 特別支援教育学教室・岸和田市社協打ち合わせ(本学)
31 地域連携・生涯学習センター「地域発展学習プログラムの開発と実施に関するセミナー」(浪切ホール)

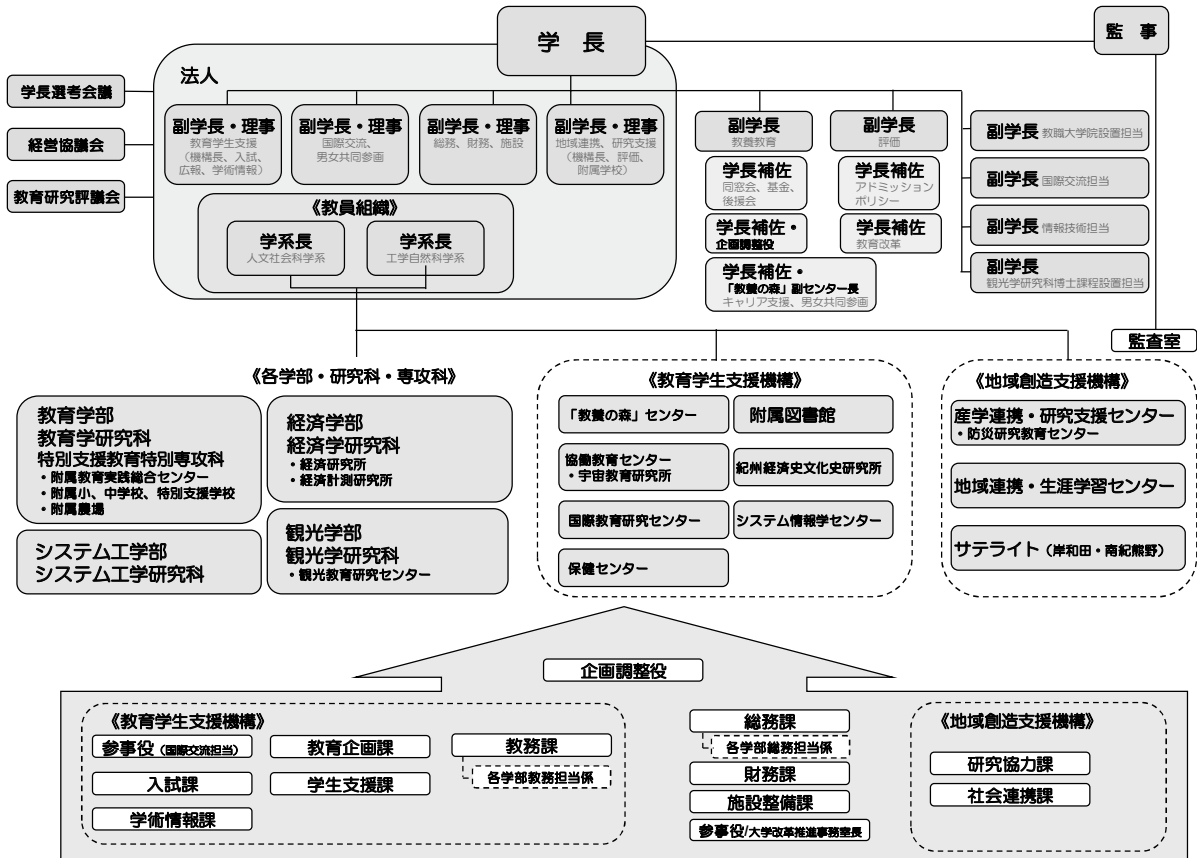
■2月

- 04 岸和田市教育委員会学校教育課(地域課題研究型プログラム・岸和田市役所)
05 大阪府立大学COCフォーラム(大阪府立大学)
06 独創的研究支援プロジェクト打ち合わせ(本学)
13 調整会議7
14 友の会冬季講演会
15 京都光華女子大学COCフォーラム(京都市)
19 大阪市立大学COCフォーラム(大阪市)
20 協働推進チーム会議(市立公民館) 第5回企画運営委員会(岸和田市役所)
24 岸和田市議会定例会傍聴(岸和田市役所)
26 調整会議8

■3月

- 06 岸和田サテライト友の会幹事会4
10 学生広報チームPRism取材対応
11 調整会議9
18 第70回わだいな浪切サロン
20 協働推進チーム会議(市立公民館) 地方創生フォーラム(東京都千代田区)
23 和歌山大学岸和田サテライト連携協議会(職員会館)

和歌山大学組織機構図 [平成26年4月1日]



G-1 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会名簿（2014年度）

和歌山大学		岸和田市	
学長	山本健慈	市長	信貴芳則
理事（教育学生支援）	池際博行	副市長	大原好照
理事（地域連携・研究支援）	平田健正	教育長	樋口利彦
理事（総務・財務・施設）	島村富雄	産業振興部長	小山藤夫
理事（国際交流・男女共同参画）	帯野久美子	学校教育部長	須賀俊介
地域連携・生涯学習センター長	村田和子	生涯学習部長	藤原芳治
地域創造支援マネージャー	湯崎真梨子	企画調整部長	小口均
岸和田サテライト長	藤田和史		
社会連携課長	神山展任		

G-2 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会名簿（2014年度）

和歌山大学		
岸和田サテライト長	藤田和史	代表委員
岸和田副サテライト長	金子泰純	
社会連携課長	神山展任	
岸和田サテライト地域連携コーディネーター	神谷千春	
岸和田サテライト地域連携コーディネーター	西田喜一	
岸和田市		
企画調整部政策企画課長	藤浪秀樹	代表委員
企画調整部政策企画課職員	橋本純	
企画調整部政策企画課職員	中島剛	
企画調整部政策企画課職員	酒井久仁子	

G-3 和歌山大学岸和田サテライト連携協議会名簿（2014年度）

職名	所属	氏名
会長	いずみの農業協同組合専務理事	谷口敏信
副会長	岸和田商工会議所専務理事	道齋芳雄
監事	大阪鉄工金属団地協同組合事務局長	岡本富和
委員	岸和田商工会議所企画業務部長	西岡數房
委員	和歌山大学地域連携・生涯学習センター長	村田和子
委員	和歌山大学岸和田サテライト長	藤田和史
委員	岸和田市教育委員会学校教育部長	須賀俊介
委員	岸和田市企画調整部長	小口均
委員	岸和田市企画調整部政策企画課長	藤浪秀樹

G-4 和歌山大学岸和田サテライト教職員名簿（2014年度）

職名	所属	氏名
サテライト長	経済学部准教授	藤田和史
副サテライト長	システム工学部教授	金子泰純
地域連携コーディネーター	社会連携課	神谷千春
地域連携コーディネーター	社会連携課	西田喜一
事務補佐員	社会連携課	梅田由美

和歌山大学岸和田サテライト事業報告 2014

発行日 2015（平成 27）年 5 月 31 日

発行 国立大学法人和歌山大学岸和田サテライト

〒596-0014 大阪府岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

TEL&FAX : 072 - 433 - 0875

<http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/>

印刷所 中和印刷紙器株式会社

〒640-8225 和歌山市久保丁 4-53

